

さくらだより

第3号

2005年5月15日

社会福祉法人京都老人福祉協会 京都市伏見区深草大亀谷東古御香町59番地・60番地 TEL.075-641-6622 FAX.075-641-6746



京都老人ホームの「そめいよしの」が見事に開花（撮影・養護老人ホーム介護職員）

ことば

春・桜の俳句

—— 利用者の作品 ——

鴨の瀬の 空に奏でる 早春譜

（深草デイ利用者）

ぎこちなき 背広が歩く 春四月

（京老デイ利用者）

春場所こそ 日本ざくらも 咲かせたい

（養護老人ホーム利用者）

雨の日の 桜また良し うたひゆく

（醍醐の家利用者）

老いゆく日々 やさしく生きよと 桜餅

（深草デイ利用者）



ハートで
ぬくもりと安心を
お届けします
京都老人福祉協会

社会福祉法人 京都老人福祉協会

平成一七年度 事業計画と重点課題

生活感あふれるケアサービスと地域で暮らし続ける支援を

高齢社会がすすむなかで、現状の制度だけでは、将来も含めて増大し変化するニーズに対応できないことが明らかになってきました。

昨年度は、平成一八年度を目標として、介護保険制度を中心に高齢者福祉に関する重要な改革のポイントが示されま



した。介護保険制度を補強強化して継続可能な制度とすることを中心として、増大する要支援・要介護高齢者に対しては、新たに介護予防という予防重視の考え方を導入し、また、地域で生活し続けられるよう支援を強化するため、地域密着型サービスや地域包括支援センターなどの新たなサービスを創設するなど、諸問題に対応するため制度として一層複雑さを増しています。

これら新制度の多くは保険者である市町村が責任主体となつて制度を運営することになるなど、住民の生活圏域をベースとしたきめ細かなサービスの提供のために保険者機能の強化が謳われています。さらに、増加が予想されて



いる認知症高齢者についてのケアの重視など、多くの課題に対する制度の改正が行われようとしています。

一方、保険制度維持のため保険料や利用料の見直しも行われ、利用者や市民の負担の増大も懸念されます。

将来、高齢者が増え、認知症などによりさまざまな生活上の障害が起こったとしても、人間らしく、また自分らしく生きてゆける制度や社会の実現のため、今私たちは与えられた課題の中でどう努力してゆくのか。このことを常に念頭に置きながら、本年度の課題に取り組んでゆきたいと思ひます。

本年度の事業計画は、以下の三つを柱として具体化していきたくと考えています。

1 不断に職員の資質とケアサービスの質の向上を目指します。

施設利用の皆さまや地域のご利用者の方々によりよいケアサービスを提供できるように、職員の資質向上のための研修などを充実させ、ユニットケアや認知症ケアなどに実践的取り組み、少しでも生活感溢れ、利用者の方々の主体的な生活が支援できるように努力してゆきます。また、福

祉職員として利用者の方々の基本的人権や諸権利を守り発展させられるよう努力します。そのためにも、サービス評価事業など、第三者の助言を積極的に活用し、改善をはかってゆきます。

2 高齢者・障害者の方々が地域に住み続けられるような援助やサービスの提供を目指します。

一層、居宅系のケアサービスとそのネットワークを充実させるとともに、介護予防型サービスや地域密着型サービスなど、地域で暮らし続けることを支援する新たなケアサービスの提供のための準備と実践を行います。また、地域の諸団体との協同をより発展させ、地域住民の方々が主体者となって、安心して生活できる地域社会をつくってゆくに努力します。

3 全般的な事業経営の安定化のため財政の健全化を目指します。

利用者の方々や市民の経済的な負担の増加が懸念される一方で、福祉施設やサービス提供事業者も厳しい介護報酬のなかで経営的な不安に陥っています。公定価格の中での過剰な競争原理の導入でケアサービスの低下を招かないよう、また職員に正当な報酬が保障されるような制度の確立こそ国の責務だと思ひます。京都老人福祉協会の事業とケアサービスは社会福祉であり、ゆえに市民の財産ともいえます。これを大切に守り育ててゆくために、安定した財務運営を目指し、職員それぞれの立場から目標を明確にして当法人総体として努力して参ります。

2005年度前期 法人拡大管理委員会が開催されました

4月23日午後半日、当法人の6事業所のチーフ職・主任・総括主任・部長・施設長合わせて計75名が一堂に会して、情勢学習・昨年度の事業実績・本年度の課題と事業計画の提案を受け、実践報告がなされました。当法人の組織的な経営・運営・事業活動を推進するために半期に一度はこのような合同会議がなされています。

今回の実践報告「私たちは誰のために何をするのか？」



- 特養ホーム：ユニットケアへの取り組み 報酬の家ほっこり：小規模多機能プロジェクト報告とそれによる学び
- 東高瀬川センター：地域密着型サービス、小規模多機能型サービスの研修報告会

これらの報告を各部署でさらに具体化させて、より質の高いサービスを提供できるように職員の総意で頑張ります。

養護農園は春いっぱい!!

四月四日、もう春だということに、肌寒い中、養護農園の中に桜の苗を植えました。畑の世話をしてくださっている入居者の方と、園長・相談員・介護職員とで、NPO法人『京都桜の森公園』よりいただいた苗を全部で六本植えました。背丈が大人の身長程ある花笠（八重桜）という種類の苗ですが、さてさて立派に育ってくれるのでしょうか。

京都老人ホームにはたくさんの桜の木があります。この記事を書いている今が、一番の見頃です。この桜たちも何十年もしたら、きれいな花を咲かせてくれるのでしょうか。

畑にはもうひとつの仲間が増えました。京都老人ホームのお隣にあって年間を通じて児童さんとお年寄りの交流を



やすらぎハウスと桜

畑仕事で頑張っている入居者のために、また、畑のお花を生徒さんに持ち帰ってもらったりしたお礼に、こつこつと生徒さんや先生、ボランティアさんたちがこの小屋を造ってプレゼントしてくださいました。



学生さんの就職支援のヘルパー養成講座を開講しました

平成一六年度、初めての試みとして、龍谷大学短期大学部後援の二級ヘルパー養成講座が開講されました。このヘルパー養成講座は、学生さんの就職支援として実施されました。

そういった意味もあり、講座の受講生（五〇名）は、全て龍谷大学短期大学生で、また講座の実施については、龍谷大学に全面的に協力（講師の協力・会場の提供・物品の貸出等）していただきました。

受講生の皆さんは、短期集中で土日以外毎日講座があるというハードスケジュールにも拘わらず、欠席や遅刻も、ほとんどありませんでした。また、介護技術・知識の取得にも積極的で、授業中の態度も真剣そのものでした。

受講生の中には、将来的には福祉施設で就労したいと考えている方もおられ、今回の講座で学んだ知識や技術が、

福祉職につく上での自信になれば良いと考えております。受講生の皆さんお疲れ様でした。今回学ばれた事を活かされて、ご活躍される事を心よりお祈り申し上げます。

受講生の感想

ヘルパー2級養成講座を受けて、より強く介護の仕事がしたいと思いました。講義では、難しい言葉が出てきたりして、不安になったりしました。けれど、現場での話を聞かさせて頂くと、やりがいのある仕事なのだ改めて感じました。

実習では、気持ちが沈むことが何度もありましたが、利用者さんの笑顔に励まされ、乗り切ることができました。利用者さんに私が何かをしたのではなく、利用者さんが私を支えてくださいました。本当に良い経験ができました。

ヘルパー養成講座の実習と講義をうけて、福祉について知らないこともたくさんあって、とても勉強になりました。講義は日程が詰まっていた、つらいなって思う時期も正直あったけど、今となっては福祉の知識が増え、いろんな場面で役立てることができています。4日間という短い実習ではあったけど、講義では学ぶことのできない、多くのことを学ぶことができました。自分自身、充実した実習を送る事ができたと思います。ヘルパーの資格は、自分の福祉職につくうえでの自信につながると思うので、いい福祉職員になれるように、がんばってまいります。

ヘルパー2級養成講座を受ける前は、これさえ受講すれば介護の仕事をする自信がつくと思っていました。しかし、実際は、この講義で学ぶことは最低限のことだったので、この1カ月ほどで学んだことを基盤にこれからも勉強していこうと思いました。

そして、実習では職員さんに質問すると丁寧に教えてくださって、講義で学んだことを実感することができました。実習の期間は、短かったので、全ての事を学ぶことができなかったけれど、利用者さんとのコミュニケーションから将来は介護の仕事に就きたいと強く思うようになりました。私は、この講座を受けることで今まで以上に福祉への興味が深まったので、この講座を受講してよかったです。





給食部自慢のきれいでおいしい花見弁当です



今年は京老のお花見に合わせたように晴天の下、満開の桜でした。

給食部です!

老人ホーム恒例お花見 宴たけなわ

お花見は給食部の中でも新年度最初の行事食というところもあって、気合の入れ方が違います。旬の豆ごはん、うに焼き、カニ爪フライ、ロール巻き、炊き合わせ、筍の木の芽和え、などすべて手作りです。桜餅も添えて、華やいだ春らしいお弁当になりました。
利用者の皆様もいつもよりゆっくと、心ゆくまで花見弁当を味わっておられました。

作成し、給食部と利用者とが身近に感じられるようになればと思っています。

在宅で高齢者が自立した生活を送る上で、配食サービスは大切な使命を担っています。今後は治療食にも取り組み、地域の皆様に必要とされ喜んでいただけるよう努力していくつもりです。お申し込み・ご相談は各在宅介護支援センターへ。

(表紙のつづき)

春・桜の俳句

—— 利用者の作品 ——

もくれんの 晴たる姿 春をよぶ (京老デイ利用者)

前線は いくさの場あり 桜あり (京老デイ利用者)

紅ざくら 若松のそばにも 美しき (養護老人ホーム利用者)

咲き誇り 花は散る しだれ桜 (養護老人ホーム利用者)

軽やかな春 財布はもつと 軽くなり (京老デイ利用者)

花見酒 あのひとつもまた この人も (醍醐の家利用者)

わだかまり 春夕焼けに 溶けてゆく (京老デイ利用者)

配食サービスの 拡充めざして

京都老人ホームでは、従来より昼170食、夕80食平均の配食事業を実施していますが、昨年の11月、配食利用者の皆様にアンケートに協力していただき、130名の回答がありました。

電子レンジ対応容器を使用してから初めてのアンケートで、温めることにより美味しくなったという声が8割を占めていました。17年度は新しい試みとして配食新聞を

個人情報保護法に ついて

制定 平成17年4月1日

京都老人福祉協会の個人情報保護方針

社会福祉法人 京都老人福祉協会
会長 豊田 英次

京都老人福祉協会は、個人情報取扱事業者として、個人情報の保護を事業運営上の最重要事項のひとつと位置づけ、個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラム（※京都老人福祉協会が、自ら保有する個人情報を保護するための方針、組織、計画、実施、監査および見直しを含むマネジメントシステムをいいます）を制定し、以下の方針に基づき、個人情報を正確かつ安全に取り扱うように努めます。

1. 個人情報を収集する場合は、収集目的を明確に開示して収集します。収集した個人情報は、本人の同意を得た範囲内で利用し、また同意を得た範囲以外の第三者への提供・開示は行いません。
2. 個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等に対して、技術面及び組織面において合理的で適正な安全対策を講じます。
3. 個人情報に対して、本人から開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし、合理的な期間、妥当な範囲で応じます。
4. 業務に従事する全ての者に対し、個人情報保護の重要性とその責任を認識させることに努めます。
5. 個人情報に関する法令及びその他の規範を遵守します。
6. 個人情報保護のコンプライアンス・プログラムについて、必要に応じて見直し、改善します。

※例えば、京都老人ホームの玄関にある面会簿の書式を、供覧式のノートから訪問者個人別のカード方式に変えさせていただきました。

平成一七年四月一日に「個人情報保護法」が施行されました。この法律は、情報化社会における、個人情報の重要性から制定されました。この法律は、社会福祉法人京都老人福祉協会では、利用者等の個人情報を適切に取り扱うことは、介護サービスに携わるものの重大な責務と考えております。そこで以下のような個人情報保護に対する基本方針を策定し、その方針に基づき当法人が保有する利用者等の個人情報を適正かつ適切に取り扱い、個人情報の保護を図ってまいります。

SAKURA NEWS

熟年パワーの「演芸会」

去る2月26日(土)に、京都老人ホーム大食堂にて毎年恒例の演芸会が開催されました。

外はまだ寒さが残っているというのに会場は熱気に包まれ、出演している方も鑑賞している方も、本当に楽しい一日となりました。

プログラム一番は利用者の皆様による「フラダンス」と「マツケンサンバ」。華麗な衣装に身を包んで舞台上を舞い踊り、今が旬のマツケンサンバの軽快なリズムに合わせて鳴り響く和太鼓の力強い響きに会場が沸きました。和太鼓の演奏をされた皆さんは夏頃から毎週1回行われている太鼓練習に参加し、この日のために技を磨いてこられました。二番手は、季節先取りで桜満開の衣装をつけた家族会の皆様による大正琴演奏。その美しい音色に合わせて「ひなまつり」「さくらさくら」「船頭小唄」を唄っていただきましたが、馴染みのある唱歌は見ている人たちも巻き込んでの大合唱となり“歌に世代の壁はない”と実感いたしました。



龍谷大学ボランティアの方たちも坂本九やスマップの歌を熱唱！プロ顔負け

の上手さに拍手喝采。普段、馴染みのある学生さんだけに皆さん大喜びでした。個性的な(?)ファッションをした職員による歌とダンス、ハンドベルは特養新人の努力の賜物。皆さんお楽しみいただけただけでしょうか？



トリは羽賀園長・三代園長出演の演劇「白雪姫」。台本から演出、はては大道具まで…台詞を覚えるのにも四苦八苦。しかしそこは園長を筆頭に本番に強い職員たち。何とか無事演じることができ、ほっと一安心です。

利用者・ご家族・職員が一つとなって創られる年に一度の大イベント。来年もさらにパワーアップした演芸会をご期待ください。



「醍醐の家ほっこり」の予定

- 5月 ボランティアさんとの集いを行い、懇親を深めます。
- 6月4日 3周年記念行事を皆さんで祝います。
- 7月 バーベキューを楽しみに、日野野外活動センターへ行きます。
ビアガーデンで素敵な夜景を見ながらおいしいビールをいただきます。
(グループホーム)

第1回京都老人ホーム家族会総会 5月15日(日)開催

平成15年12月に発足された当家族会は少しずつ活動を進められて、このたび会則に基き総会を開き、活動報告・計画案や世話人選出等の審議をされることとなりました。同じ施設をご利用されているご家族さん方の会が益々発展して、入居者・ご家族共に「ウエルビーング」(幸せな状態)になられることを願って、施設職員も応援したいと思います。

社会福祉法人
京都老人福祉協会グループ



京都老人ホーム TEL.075-641-6622
春日丘センター TEL.075-574-0610
東高瀬川センター TEL.075-602-3071

深草センターほっこり TEL.075-647-9720
醍醐の家ほっこり TEL.075-575-3888
介護情報センターおおてすじ TEL.075-605-8331